

ペップリーディングカンパニー
豊清工業の社長が贈る



PEP TALK!



通信 Vol.50

【その応援、本当に届いていますか？】

「頑張れ!」「大丈夫、できるよ!」私たちは普段、励ましのつもりでこうしたポジティブな言葉を使います。しかし、時にはその言葉が相手にとってプレッシャーになったり、空回りしてしまったりすることがあると思います。実は、ペップトークは単なる「ポジティブな言葉の羅列」ではありません。真のドリームサポーターとは、相手の夢の実現や目標達成を本気で願い、その「想い」を言葉に乗せて届ける人のことです。

では、どうすればその想いは届くのでしょうか。

私が豊清工業の経営やペップトークの講演を通じて痛感していることがあります。それは、「自分のことを知らない人からの言葉は響かない」ということです。

例えば、これから強豪校との試合を控えた選手、人生を左右する試験当日の子ども、社運を賭けたプレゼン直前の社員がいるとします。彼らが今日この日を迎えるまでに、どれほどの努力を積み重ねてきたか。どんな壁にぶつかり、どんな悔しさを乗り越えてきたか。そして今、この瞬間にどんなプレッシャーを感じ、どんな言葉を求めているのか。これらを知っているからこそ「あれだけの練習を耐え抜いたお前なら、絶対に大丈夫だ」という言葉が生まれます。

ただの「大丈夫」と、背景を知った上での「大丈夫」。この二つの間には、天と地ほどの差があります。相手の努力や不安を理解しているからこそ、その言葉は「私のことを分かってくれている」という安心感と信頼に変わり、勇気となるのです。

ペップトークの第一人者である岩崎先生も、「ペップトークは普段のその人を知らない第三者にはできない」と言っています。なぜなら、最高のペップトークの源泉は、テクニックではなく「相手への関心」にあるからです。近くにいるだけで相手を理解できるわけではありません。「知ろう」としなければ、見えてこないのです。

あなたは今、大切な人のことをどれくらい知っていますか？彼らが隠している努力や、言葉にできない不安に気づいていますか？その人が何に挑戦し、何に苦しんでいるのか。じっくりと観察し、話を聴き、心に寄り添ってみましょう。そうして相手を深く理解した時、あなたの口から自然と出る言葉こそが、相手にとって最高のペップトークになるはずです。あなただからこそ、響く言葉があります。あなたこそが、誰かにとって最強のドリームサポーターになれるのです。

さあ、今日は誰の心に火を灯しますか？

あなたの温かい眼差しと関心が、誰かの奇跡への第一歩となりますように。